

日本で身につけた知識を生かし、陝西省の経済発展や社会進歩に貢献することによって、諸先生方の学恩に報いたい。

充実した大学院生活

大学院自然科学研究科 生物生産専攻
杉林 直樹

大学院に入学したのが2～3ヶ月前であると錯覚してしまうくらい、サッと過ぎ去っていった2年間でした。改めて振り返ってみると入学前に思い巡らせていた事が努力不足

私は後悔するという事を実際に行った行動以外にもっと良い考えを思いついたと捉え、自分自身の成長になくはならない事だと思っています。

卒業、修了



本人前列左側。同じ研究室の修了生仲間と。

もあり、思うように行動に移せず、今となっては「あの時もっとこうしていたら」という後悔が数多く残ります。ただ、後悔が残ることは決して悪いことだとは思いません。私は後悔するという事を実際に行った行動以外にもっと良い考えを思いついたと捉え、自分自身の成長になくはならない事だと思っています。そういう前向きな考えで後悔した訳ですから私にとってこの2年間は充実していたと言えます。また、この2年間で充実していた後悔を理由にこうして言い切れるのも、同期の院生の手助けや先生方のご指導、そして2

年間の猶予をくれた両親他、多くの方々の支えや協力があつたからこそだと思います。今度は私が社会に出て少しでも多くの人々に貢献できるよう精進したいと思います。

修了にあたって

大学院現代社会文化研究科 日本社会文化論専攻
呉 鉄

新潟大学へ来て6年半の歳月が経過しました。日本での勉学生活を振り返ると、本当に感無量です。指導教官の藤井隆至先生をはじめとする諸先生方からの親切なご指導、またたくさんの友人からいただいたさまざまな応援のお陰で、私は無事に博士課程を修了することができました。本当に感謝の気持ちで一杯です。

帰国後、中国陝西省の幹部育成大学に復職し、行政管理の仕事をしなが、経済、農業の分野の授業も担当する予定です。陝西省は中国政府が掲げる「西部大開発」の重点実行地域で、観光産業、ハイテク産業、エネルギー産業などの一層の発展が期待されています。今後とも一層の努力をし、日本で身につけた知識を生かし、陝西省の経済発展や社会進歩



本人中央。故郷である西安市で「雪村友梅国際学術研究会」にて進行役兼通訳を担当。(雪村友梅は730年前の新潟県長岡出身の傑僧であり、元の文宗に「宝覺真空禪師」の号を送られ、西安の南郊外にあった翠微寺の住職に委任された)

に貢献することによって、諸先生方の学恩に報いたいと考えております。

中国経済は1970年代末からの改革路線の実施により、高いスピードで発展してきました。この発展に、隣国の日本は、改革の思想をはじめ、資金、技術、人づくりなどの面で各種の貢献をしてくれました。昨年末のWTO加盟によって、中国経済の国際化は更に進み、日中の経済交流はますます緊密化するでしょう。日中関係は、歴史問題や貿易摩擦などいろいろな問題に直面することがあるかもしれませんが、大きな流れとしては、良い方向に進んでいくことを確信しております。微力ながら日中友好の架け橋の役割を果たしたいと願いつつ、新潟大学をあとにします。ありがとうございました。

学生生活の終了にあたって

大学院自然科学研究科 生産システム専攻
青山 佳男

私はこの新潟大学へは編入学で3年生から大学院修了までの合計4年間を過ごすことになりました。最初の冬には大量の積雪を見てカルチャーショックを受けたりもしましたが、大学生活に関しては他の大学に進学した仲間達の話とは違い同期の学生達とはいきなり打ち解け、3年生の時は講義も受けつつ自分の想像していた大学生活をしっかりと満喫することとなりました。

長かった学生時代もとうとう終わりとなります。私も24歳になりました。同級生もちらほら結婚する者も出始めました。研究室生活は楽ではありませんでしたが、実際に社会人となるとさすがに不安も感じない訳ではありません。が、研究時間と年を無駄に食ったと言われない様にはやっつけていけるだろう、とは思っています。

最後に修士論文を完成させるにあたり御指導を賜った諸先生方、並びに助言を賜りました研究室の先輩、後輩達、4年にも及ぶ新潟での生活を楽しいものにし



本人左側

研究時間と年を無駄に食ったと言われない様にはやっつけていけるだろう。

てくれた悪友達に謹んで厚く御礼申し上げます。

卒業を向かえて

医療技術短期大学部 衛生技術学科
湯澤 郁恵

私がこの医技短に入学してからもう3年が経ちました。入学して学内実習が始まってからは1日が過ぎていくのが早いなぁと思っていましたが、最近はもう卒業なんだなぁと意識し始めてからは特に早く感じています。

私がこの道に進もうと思ったのは高校生の時で何となく臨床検査技師の仕事に魅力を感じたからでした。実際、臨床検査の勉強をしてみるとかなり難しく、実習も夜遅くまでやらなくてはならず、時々投げ出したくなる気持ちになりました。でも病院見学や病院実習をしているうちに逃げ出さず頑張ろうと思いました。そこには一緒に頑張っている友達や家族、先生方の支えがありました。こうして無事に卒業を迎えられ、ここまで頑張ってきたのは周りの人たちのおかげだと本当に感謝の気持ちでいっぱいです。私はこれからも人との出会いを大切に、常に感謝の気持ちを忘れず、医療現場で貢献できるよう頑張っていきたいと思えます。



本人上段左端

こうして無事に卒業を迎えられ、ここまで頑張ってきたのは周りの人たちののおかげだと本当に感謝の気持ちでいっぱいです。